



# A. F. J. O.

## 第2回日仏整形外科合同会議 2<sup>e</sup> Réunion de l'AFJO

### 会長挨拶

第1回のパリーでの日仏整形外科合同会議 (AFJO) に引き続き、第2回目が昨年10月4日京都で開催された。第1回がフランス側の大変な肝入れで、大盛會裏に終わった様子はアンフォ (日仏整形外科学会広報誌) 第1号に小林晶先生が書かれている通りであって、それだけ第2回目に対する期待が大きいように感じられた。そこで開催地は京都ということになり、京都に馴染みの深い実行委員の小野村、瀬本両委員の手を煩わすことが殊の他多くなったが、おかげで立派な企画ができたのではないかと考えている。京都での会に続いての東京での日本整形外科学会の基礎学術集会に出席できるようにも便宜が計られた。ここに紙面を借りて、会長の室田景久教授に御礼を述べたい。

フランス側の参加者が同伴者を含めて80人程度になることを知らされた時は全く驚かされたが、同時に先方の熱意も伝わってきて、第2回AFJOをなんとかうまくやらねばという思いに駆られた。

学会の形式は時間の制約もあることなので、第1回の時に準じて、フランス側の演者に対し、それぞれの演題に関するわが国の第一人者の先生に司会をお願いし、コメントもして戴くようにしたので、多くの先生方のご援助を仰ぐことになり、またご意見も聞かせてもらい、ユニークで中味のある会になったようである。ご足労戴いた先生方に心より御礼申し上げたい。

いずれにしても、このように大勢のフランス整形外科医が来日してわが国の整形外科医と合同の学会をもつことは、日本の整形外科の歴史で初めての出来事であり、我々が日仏整形外科学会の設立当時から念願していたことがこんなに早く現実のものとなっていることに深い喜びを感じるとともに、プログラム委員や募金委員をお願いした先生方をはじめとして多くの方々のご支援、ご協力の賜であることに感謝の念で一杯である。特に会員の方からは随分多くの寄附があつて我々を勇気づけて戴いた。また不況下にも拘らず、多数の

企業からのご援助があり、日仏の文化交流の一端を我々とともに支えて戴いた。このようにして日仏整形外科交流の新しい歴史をきり開くことができたことは銘記すべきものであると感じている。

また、平澤泰介京都府医大教授のご尽力によって我々の同僚の整形外科医でもある田辺朋之京都市長に開会にあたっての歓迎の辞を戴いたことは願ってもないことで、まことに有意義なことであった。田辺市長から熱の込められた挨拶をして戴き、日仏整形外科合同会議の幕開けにふさわしいものであった。

フランス側の演題を通覧すると、股関節外科、側弯症の手術、髓内釘、肺長差の治療、創外固定器、内反足といったフランス整形外科の特徴を具え、臨床に密着したものが選ばれており、その他生体内吸収物質「乳酸ポリマー」の力学的特性という up date のものがあつた。臨床例は多数例について長年フォローしたもので、学ぶべきものが多かった。

学会の運営は専ら大阪医大の教室の方のお世話になった。またここに至るまでの準備にはフランス側の会長 Picault 教授の一方ならぬご尽力があつたときいているが、実務を担当して戴いたチラン夫人と、その窓口となっている日本側書記の方々の並々ならぬご努力に負うところが大きい。会の当日にはフランス外務省から日本に留学中のフィシェル夫人にも手伝って戴いた。また柏木しずえ様にはボランティアとして通訳等にお手伝い戴いた。その他多くの方のご援助に心から御礼申し上げます。

会は小林晶書記長の司会で、澁みなく、しかも活発に進行した。閉会は少し儀式風になっていて、日仏それぞれの会長の閉会の辞の他に、小野村副会長が日本整形外科学会の理事長として、AFJO

の名誉会長でもある Michel 教授が SOFCOT（フランス整形外科災害外科学会）理事長としての銘々の挨拶があり、いかにもフランスと日本の整形外科学会の交流の場が現出されているようで、想い出深い閉会式となった。

AFJO 閉会後に日仏整形外科学会（SOFJO）の総会を開催した。SOFJO は例年ではフランス人は招待した整形外科医の他少ないが、今回は合同会議に参加したフランス人が皆残っていて、張り合いのある会になった。この会で、日仏整形外科用語集を出版された森崎直木名誉教授のご功績に対し、表彰状をお渡しした。かねがね同教授の労作に驚嘆と敬意の念を禁じ得なかった私としては、またとない機会であり、この上ない喜びであつた。

京都はまことにフランス人に似つかわしい。フランス人一行の宿舎となつたホテルフジタは加茂川沿いの開けた風景の中にあつて、その規模といい、雰囲気といい、全くフランスの人達に恰好のホテルではないかと思われた。会の前日にここで歓迎会が催され、その感慨も一入であつた。また学会終了後催された「しようざん千寿閣」での夕食会は、日本座敷だけでなく、園遊会のように日本庭園が使われ、照明をうけて、着飾つた、都びた人々の醸し出す華やいだ雰囲気はこの世のものとは思えず、さすがに京都とフランス人とのとりあわせは印象深く、感動さえ覚えた。

後から届いたフランス側 AFJO 委員会の委員会記録では、京都への旅行が、学術の面でも観光の面でも大成功であり、日本側の歓迎が申し分なかったと書かれていて、その書きぶりからお世辞ではないように思っているが、ここに重ねて、関係各位のご好意とご支援に対し、深甚の謝意を表する次第である。

73 Français, 36 chirurgiens et 37 personnes accompagnantes ont fait le voyage au Japon pour participer à la 2<sup>e</sup> Réunion de l' Association France Japon d' Orthopédie.

Ce voyage a été pour tous une grande réussite sur tous les plans.

La séance scientifique était remarquablement organisée. Une importante assistance japonaise nous a honorés de sa présence et sa discussion a été très intéressante et très documentée. Nous avons beaucoup apprécié l' exactitude et la politesse des intervenants. Les échanges ont été très fructueux et ont permis des progrès réciproques.

Le programme touristique, méticuleusement organisé, a été passionnant pour tous. En bus, en métro, en train, nous avons pu nous trouver dans l' ambiance quotidienne. Nous avons découvert de multiples facettes du Japon, la ville, la plaine, les montagnes, l' océan et aussi l' architecture.

Nous avons été très impressionnés par les cérémonies d' accueil et les réceptions. La traditionnelle hospitalité a été somptueuse, dans des cadres exceptionnels, tout était parfait et la courtoisie extrême de nos hôtes a été partout remarquée.

En novembre 1994, nos amis japonais viendront à Paris pour la deuxième fois, nous aurons à coeur de les recevoir le mieux que nous pourrons.

Notre connaissance réciproque va en progressant et nos échanges qui sont spécialement amicaux et fructueux doivent être meilleurs encore.

Je suis chargé de transmettre à tous ceux qui ont oeuvré pour la réussite de cette 2<sup>e</sup> Réunion les remerciements les plus sincères et les plus chaleureux de tous les Français et l' assurance de leurs très fidèles sentiments.

我々フランス側からの73名の参加者（整形外科医36名，その同伴者37名）は，第2回日仏整形外科合同会議（AJFO）に参加する為，日本へ参りました。

この日本への旅は，全ての面で大成功でした。

素晴らしい会議でした。我々は1人の日本人女性（ジラン夫人）と同行出来た事を大変光栄に思います。彼女との会話は，とても興味深く，かつ参考になりました。参加された方々の几帳面さや礼儀正しさは，我々フランス人の間で高く評価されております。この交流は多いに実りがあり，相互の向上を促しました。

綿密に計画された観光プログラムは，一同非常に感銘を受けました。バス，地下鉄，列車の中で，我々は日常の雰囲気味わう事が出来ました。街，平野，山々，海原そして建築物と，我々は日本の様々な面を発見しました。

歓迎式典やレセプションは，いままでにない印象的なものでした。伝統的なおもてなしは豪華かつ完璧で，我々に対する行き届いた心遣いを至る所にお見受けしました。

1994年11月に再びパリへの会議に来られる方々については，出来る限りのおもてなしでお迎えしたいと思っております。

お互いの理解を深め，心のこもった実り多き交流を今後さらに進めなくてはならないと思っております。

最後に，第2回合同会議を成功裡に納めるのに御尽力頂いた方々に対し，我々全てのフランス人会員は心からの感謝と厚い信頼の気持ちをお伝え致します。

## Comités

JAPON (SOFJO)

会長 (Président) :

七川 歆次 K. SHICHIKAWA

副会長 (Vice - Président) :

小野村 敏信 T. ONOMURA

菅野 卓郎 T. SUGANO

書記長 (Secrétaire général) :

小林 晶 A. KOBAYASHI

書記 (Secrétaire) :

瀬本 喜啓 Y. SEMOTO

澤田 出 I. SAWADA

FRANCE

Président d'honneur :

C. R. MICHEL

Président :

Ch. PICAULT

Vice - Président :

J. P. COURPIED

Secrétaire :

R. KOHLER

Trésorier :

L. COLLET

## 第2回日仏整形外科合同会議 実行委員会

Membres de l'organisation  
de la 2<sup>e</sup> Réunion de l'AFJO

実行委員 Comité exécutif

委員長 七川 歆次 K. SHICHIKAWA

委員 小野村 敏信 T. ONOMURA

〃 菅野 卓郎 T. SUGANO

〃 小林 晶 A. KOBAYASHI

〃 瀬本 喜啓 Y. SEMOTO

プログラム委員 Comité scientifique

委員長 原田 征行 S. HARATA

委員 福田 眞輔 S. FUKUDA

〃 竹光 義治 Y. TAKEMITSU

〃 生田 義和 Y. IKUTA

〃 東 博彦 H. AZUMA

募金委員 Comité financier

委員長 七川 歆次 K. SHICHIKAWA

委員 竹光 義治 Y. TAKEMITSU

〃 原田 征行 S. HARATA

〃 菅野 卓郎 T. SUGANO

〃 井村 慎一 S. IMURA

〃 小野村 敏信 T. ONOMURA

〃 生田 義和 Y. IKUTA

〃 小林 晶 A. KOBAYASHI



プログラム

Programme

9:30 開 会

Accueil Vice-Président de l'AFJO T. SUGANO  
歓迎の辞

京都市長 T. TANABE

Allocution Vice-Président de l'AFJO J. P. COURPIED  
INTRODUCTEUR

A. KOBAYASHI

9:45 SESSION (1)

1) 麻痺性股関節疾患に対するキアリ骨盤骨折術

BARTHAS J., GUILLAUMAT M. PARIS

座長: ASADA K.

2) Triple osteotomy 後の股関節の経時的X線計測

CLAVERT J. M., REPETTO M.,

DE BILLY B.

STRASBOURG

座長: FUNAYAMA K.

3) Loosening を見えない semi-constrained type  
人工股関節の成績 (5年経過した160例)

NOYER D., ROUSSOULY P. LYON

座長: IMURA S.

4) 人工股関節置換術後の合併症

PICAULT Ch., MICHEL C. R., MICHEL F. LYON

座長: INOUE H.

5) 20年以上経過観察しえた Charnley 型人工股関節  
100例の検討

MICHAUX M.

MONT SUR MARCHIENNE (BELGIQUE)

座長: SUGANO T.

6) 人工股関節置換術後の坐骨神経麻痺 (手術手技と  
医事問題)

LECLAIR A., SARDE O., VIVES P. AMIENS

座長: NIWA S.

7) 成人血友病性膝関節症に対する手術療法

COURPIED J. P. PARIS

座長: OGIHARA Y.

8) 外側型変形性膝関節症

OH. T., KOBAYASHI A.

FUKUOKA

座長: CLARAC J. P.

11:45 昼食会 【豆狸】

13:15 SESSION (2)

9) 腰椎側弯症における oblique take-off の治療経験

MICHEL C. R., MICHEL F., VINCENT P. LYON

座長: ONOMURA T.

10) CD 法における固定下端部位の検討

ROUSSOULY P. LYON

座長: HARATA S.

11) 前方後方進入による脊椎三段階同時手術

MARNAY T. NIMES

座長: TSUZUKI N.

12) 電動式シェーバーを用いた経皮的髄核摘出術

ITO J., HARATA S., UEYAMA K., ICHIKAWA S.,  
ARAKI T., KUDOH M., HATANO H., SATOH T.

HIROSAKI

座長: MATHIEU

13) 弾性髄内釘による小児長管骨骨折の治療経験

PREVOT J., LASCOMBES P., METAIZEAU J. P.

NANCY

座長: ABE M.

14) 私がエンダー釘を用いる理由

VEINBERG J. FONTAINEBLEAU

座長: NISHIBAYASHI Y.

14:45 休憩

15:00 SESSION (3)

15) 脚長差に対する epiphysiodesis

COLLET L. M. AMIENS

座長: KOUJIMOTO H.

16) 骨欠損に対する Ilizarov 法

BIASIBETTI A. TORINO (ITALIE)

座長: HAMANISHI C.

17) 創外固定器の力学的差異に関する研究 (臨床的考察)

MEYRUEIS J. P., MASSELOT A., MEYRUEIS J.

TOULON

座長: HIRASAWA Y.

18) 大腿骨頭の血流量・血液量測定に対する Positron  
Emission Tomography (PET)

KUBO T., HIRASAWA Y. KYOTO

座長: METAIZEAU J. P.

19) 生体内吸収物質「乳酸ポリマー」の力学的特性

MERLOZ Ph., SCHELP C., MINFELDER R., et al

GRENOBLE

座長: OONISHI H.

20) CPM を用いた内反足治療

METAIZEAU J. P., WALLERICH P. J. METZ

座長: FUJII T.

16:30 閉会の辞

Président de l'AFJO K. SHICHIKAWA

Ch. PICAULT

Président de la JOA

(Vice-Président de l'AFJO) T. ONOMURA

Président de la SOFCOT

(Président d'honneur de l'AFJO)

C. R. MICHEL

16:45 閉 会

決算報告

収 入

参	加	費	¥ 1,070,000
夕	食	会	480,000
広	告	料	100,000
会	員	寄	2,665,000
企	業	寄	7,000,000
入	金	総	計 : ¥ 11,315,000

支 出

会	議	費	¥ 8,982,971								
通	訳	関	係	費	850,914						
映	像	機	材	費	775,590						
会	場	設	営	費	437,750						
会	場	費	211,200								
昼	食	会	代	317,200							
役	員	会	費	60,150							
仏	人	歓	迎	レ	セ	プ	シ	ョ	ン	1,083,584	
夕	食	会	費	(	仏	人	は	招	待)	2,972,707	
シ	ャ	ト	ル	バ	ス	代	354,900				
レ	ヂ	ィ	ー	ス	プ	ロ	グ	ラ	ム	費	237,006
宿	泊	費	853,617								
営	業	管	理	費	(	J	-	COM)	824,000		
雑	費	(	振	込	手	数	料	等)	4,353		
事	務	費	137,208								
通	信	費	152,850								
印	刷	費	842,209								
旅	費	交	通	費	537,920						
人	件	費	316,780								
雑	費	199,053									
出	金	総	計	: ¥ 11,168,991							

残 金 ¥ 146,009

(残金はSOFJO会計に入金し、1994年の第3回AFJO準備金に充当する)

ご寄付頂いた会員名（順不同）

敬称略

井形高明	島津晃	河合伸也	石田龍吉
萩原義郎	井上康二	大萱稔	矢部裕
井上一	小松原良雄	三輪隆	高橋忍
丹羽滋郎	村田紀和	水野耕作	江崎正孝
清水陽人	河井秀夫	松本淳	原田征行
前田晃	塩田悦仁	坂口満	星忠行
鈴木勝己	桜井実	岡田衛生	古屋光太郎
阿部正隆	長田明	都築暢之	今村宏太郎
井原秀俊	小野村敏信	小林晶	阿部宗昭
内山政二	工藤洋	小野啓郎	瀬本喜啓
荒木徳一	七川歆次	吉村光生	久保山勝朗
和田英路	田中千晶	松本圭司	諸富武文
田島達也	井村慎一	辻本正記	澤田出
森崎直木	西岡淳一	菅野卓郎	福田眞輔
上崎典雄	杉岡洋一	奥村元昭	
大橋弘嗣	佐久間隆	上野達弥	
芦田ひろみ	金子和夫	村上元庸	

- ・旭川医科大学整形外科学教室
- ・三重大学医学部整形外科学教室
- ・京都府立医科大学整形外科学教室
- ・岡山大学医学部整形外科学教室
- ・高知医科大学整形外科学教室
- ・岐阜大学医学部整形外科学教室
- ・広島大学医学部整形外科学教室同門会

ご寄付頂いた企業名（順不同）

川村義肢株式会社	塩野義製薬株式会社	森下ルセル株式会社
ストライカージャパン株式会社	福井医療株式会社	藤沢薬品工業株式会社
エーザイ株式会社	札幌義肢製作所	日本臓器製薬株式会社
サンド薬品株式会社	富木医療器株式会社	日本新薬株式会社
住友製薬株式会社	大鵬薬品工業株式会社	昭和医科工業株式会社
日本レダリー株式会社	サントリー株式会社	旭化成工業株式会社
株式会社松本医科器械	参天製薬株式会社	大塚製薬株式会社
武田薬品工業株式会社	三共株式会社	興和株式会社
泉工医科工業株式会社	日本チバガイギー株式会社	科研製薬株式会社
マルホ株式会社	株式会社ミドリ十字	大正製薬株式会社



WELCOME PARTY



Dr. Picault 仏側会長挨拶



田辺京都市長挨拶



会議場風景





司会・座長席



会議場風景  
(Dr. COLLET)



会議場風景



昼食



奈良観光



会議場風景



森崎先生表彰



役員会会食  
(Pr. MICHEL Pr. COURPIED)

